

2013年3月1日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
防衛大臣 小野寺五典 様

安保破棄中央実行委員会
事務局長 東森英男

岩国へのオスプレイ配備・低空飛行訓練中止と、配備撤回を求める要請

在日米軍は28日、日本政府に対して3月6日～8日に普天間基地所属のオスプレイ3機を、岩国基地に移して、低空飛行訓練をおこなうことを通告したと報道されています。

オスプレイは周知のように、開発段階から墜落事故を繰り返し、多くの人命を奪ってきた危険な欠陥機です。

昨年10月に普天間基地に配備されたオスプレイは、沖縄県当局の調査によっても、昨年9月の「安全宣言」に反して、危険なヘリモード・転換モードで住宅地上空などを飛行しており、墜落の危険と騒音によって住民生活を脅かしています。

沖縄県と41全市町村がオスプレイ配備撤回の意見書を採択し、1月には安倍首相に「建白書」を提出しています。

昨年来、全国知事会をはじめ、全国の多くの自治体議会でオスプレイ配備撤回等の意見書が採択されています。

このようななかで、オスプレイを本土に移して、全国で低空飛行訓練をおこなうことは断じて認められません。

私たちは、政府・防衛省が、国民の命と安全を守るために、下記事項を実現するよう強く求めるものです。

記

- 一．岩国基地へのオスプレイ配備と低空飛行訓練を中止するとともに、沖縄・普天間基地に配備されているオスプレイを撤去するようアメリカに求めること。

以上